

# 桐生市立教育研究所 適応指導教室「あぷろーち」



□開設 平成4年6月8日  
 □代表者職氏名 所長 須藤 英隆  
 □所在地 〒376-0042 桐生市堤町1丁目23番16号  
 □電話／FAX 事務室(0277)43-2602・相談用(0277)22-6327／  
 FAX(0277)43-2602  
 □URL／e-mail <http://www.sunfield.ne.jp/~kiriken/> ／ [kenkyujo@city.kiryu.lg.jp](mailto:kenkyujo@city.kiryu.lg.jp)

## 1 運営の目的

何らかの要因で「不登校」に陥っている児童生徒を対象に、個別または集団での様々な活動を通して、心理的安定と自立を第一に考え、学校復帰・社会復帰を目指した支援・援助を行うことを目的とする。

(チャレンジ期間) 9/2～9/13、12/11～24  
 3学期 1月8日～3月13日 (中3生)  
 1月8日～3月24日 (小6生)  
 1月8日～3月26日 (その他)  
 (チャレンジ期間) 1/8～22、3/12～26

## 2 令和6年度職員の構成・分担

職員	業務内容
所長 1	総括
副所長 1	総括補助
所長補佐 1	渉外、指導全般
指導主事 1	指導全般
事務補助 1	庶務
適応指導員 3	通室児童生徒への指導、教育相談
SC 1	教育相談
教育相談員 3	

## (3) 日時程

時間	主な活動
9:30～9:55	読書・朝の学活・ラジオ体操 生活記録記入
10:00～10:50	学習Ⅰ
11:00～11:50	学習Ⅱ
12:00～13:00	昼食、休憩
13:00～13:50	学習Ⅲ
14:00～14:30	自主活動 運動・全体活動・レク等
14:30～14:40	清掃
14:40～15:00	帰りの学活

## 3 入室対象者及び令和5年度受け入れ状況

### (1) 入室対象者

市内の小・中学校に在籍する不登校または不登校傾向の児童生徒で、本人及び保護者が通室を希望し、適切であると認められた者。

### (2) 受け入れ状況(令和5年度)

小学生5名 中学生16名 計21名

## 4 令和6年度の開設状況

### (1) 開設日時

学校の休業日を除く月曜日～金曜日  
 9:30～15:00 (火は午前のみ)

### (2) 開設期間

1学期 4月8日～7月19日  
 (チャレンジ期間) 4/8～19、7/5～19)  
 2学期 9月2日～12月24日

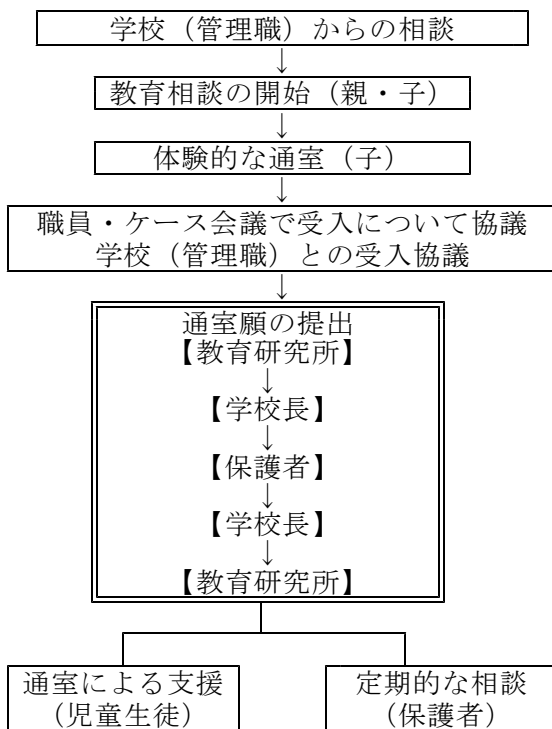
## (4) 主な行事予定(令和6年度)

4月	ふれあい活動①(吾妻公園散策) 運動日①
5月	あぷろーち説明会① ふれあい活動②(動物園見学)
6月	調理実習①(カレー)
7月	運動日② 調理実習②(手作りピザ) ふれあい活動③(七夕) あぷろーち報告会①
9月	運動日③ あぷろーち説明会②
10月	野外体験学習

	ふれあい活動④(大川美術館) ふれあい活動⑤(幼稚園訪問)
1 1 月	ふれあい活動⑥(吾妻山登山) 調理実習③(大根料理) 運動日④
1 2 月	ふれあい活動⑦(餅つき) あぷろーち報告会② 調理実習④(クリスマスケーキ)
1 月	ふれあい活動⑧(和菓子)
2 月	運動日⑤ あぷろーち報告会③ お別れ会
3 月	調理実習⑤(ちらし寿司)

## 5 入室・退室の進め方

### (1) 入室の手続き



※通室願の提出をもって正式入室者とし、在籍校長あて連絡する。

### (2) 退室の手続き

- ・保護者・本人・在籍校長と協議の上、所長が退室を認めた児童生徒について、校長及び保護者へ連絡する。
- ・退室後も本人及び保護者へのフォローをしていく。

## 6 学校、家庭及び関係機関との連携

### (1) 学校との連携

- ・在籍校長あてに、「出席状況等報告書」を月例報告として送付し、定期的に連絡を取り合う。特に各学期末には指導員が学校訪問し、情報交換を行い、円滑な学校復帰や進路指導ができるように配慮している。
- ・あぷろーち説明会を年2回、あぷろーち報告会を年3回実施し、学校復帰・社会復帰を目指した支援の実際を伝え、連携を深めている。

### (2) 家庭との連携

- ・年3回、あぷろーち報告会を実施し、本人の揺れる気持ちや気疲れする心情等を支えて欲しい旨を伝えたり、来所相談を勧めたり、保護者同士で支え合う機会をつくったりし、情報交換を行っている。
- ・不登校に関する講演会を開催し、児童生徒への関わり方や養育上の問題等をともに考える機会としている。
- ・「研究所だより」や「めだか通信」を発行し、日々の活動の様子を定期的に知らせている。

### (3) 関係機関との連携

- ・必要に応じて関係機関との連携を強化していく。

## 7 特色ある活動

子供たちの自己表出の場面を設定し、自主性、対人関係能力、社会性などを高めることをねらいとして以下のような活動を実施している。

- ①ふれあい活動(年8回)
- ②運動日(年5回)
- ③野外体験学習(年1回)
- ④調理実習(年5回)
- ⑤お別れ会(年度末)